

# 一般質問

12月4日から8日の5日間にわたり、33名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたどりました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。  
 ※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。  
 ※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



加藤真彦(自由民主党)

## 経済クラブと地域



**FC町田ゼルビアや経済団体などの声を聞き、地域経済の活性化を進めて欲しい。**  
**経済観光部長** ご提案の趣旨も踏まえて、検討を進めていきたいと思えます。  
**野津田公園周辺の渋滞対策として、時間を要しないソフト対策は。**  
**道路部長** 車両を誘導し、交通量の抑制を関係者と検討しているところです。



細野龍子(日本共産党)

## 障がい者青年学級継続を求めて



**生涯学習センターの障がい者青年学級の継続・拡充を求めるかどうか。**  
**生涯学習部長** 生涯学習センター運営協議会でいただいたご意見を踏まえ、今後も引き続き検討していきます。  
**子ども・子育て複合施設に入る子ども発達センターの水訓練室は、これまでのプール開放と同様に使えるか。**  
**子ども生活部長** 療育及び



田中美穂(日本共産党)

## 生ごみ削減の啓蒙場



**生ごみ削減はCO2削減へどういった効果があるか。**  
**環境資源部長** 生ごみの約80%が水分であり、収集運搬や焼却の際には、余計なエネルギーが必要となります。  
**生ごみを土に埋めて分解させる方法、いわゆる「キエロー」を周知してはどうか。**  
**環境資源部長** 動画や展示など効果的な啓蒙方法や周知方法については、他自治体の



石川好忠(自由民主党)

## 町田市景観計画の改定について



**「町田市景観計画」の改定により目指すことは。どのように実現するか。**  
**赤塚副市長** これまで培ってきた自然など、景観の魅力をさらに伸ばしていきたいです。  
**都市整備担当部長** 実現には、町田市景観条例の改正と(仮称)町田市屋外広告物条例の制定を行っていきます。  
**「町田市(仮称)子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業」の考え方は。**  
**榎本副市長** 人と人がつながり多様な価値を尊重し合える関係の先に、ほっとできる居場所を見つけれられるまちなことを目指しています。  
**町田市立総合体育館の現状と課題、今後の方向性は。**  
**文化スポーツ振興部長** 空調設備の不具合や雨漏りなどによって、突発的な休館が生じないように、適切な修繕や維持保全を行っていきます。



おんじょう由久(公明党)

## 物価高対策/子ども誰でも通園



**物価高騰や人材不足等の環境下、どのように予算遂行するか。**  
**榎本副市長** 大規模事業は、技術者が設計図書を客観的視点で検証し、工法等を評価し、見直す必要があると考えています。このコストラッシュをマネジメントを必要に応じて導入していきたい。  
**国の交付金を年内に予算化し、速やかに給付を。**  
**財務部長** 低所得者支援枠は、対象の方に速やかに届けることができるよう、予算化の準備を進めているところです。  
**(仮称)こども誰でも通園制度の導入が必要では。**  
**子ども生活部長** 保育所等で待機児童が生じていることから、実施は難しい状況にあります。各幼稚園へ意向調査を行った上で、ゼロ、1歳児の受入れ方法等も含め、導入について検討していきたい。



おぎわら 純太郎(諸派)

## 買物空白地区の解消を求め



**町田市は2021年度市民意識調査の結果をどのように捉えていますか。**  
**いきいき生活部長** 地形などの地域特性と併せ、移動に不便を感じる地区の買物の満足度が低いと推測しています。  
**町田市は買物空白地区に対して、どのような支援をしていきますか。**  
**いきいき生活部長** 高齢者支援センターで作成している



三遊亭らん丈(自由民主党)

## 中心市街地のまちづくり



**町田駅周辺の再開発に向けて、まちづくりの機運が高まってきているなか、その進捗状況を問う。**  
**都市整備担当部長** 24年2月頃に検討委員会を開催し、これまでの議論や意見も踏まえて計画案を作成します。計画案について、24年3月中旬頃から市民意見募集を実施し、24年6月に(仮称)町田駅周辺整備計画を策定します。  
**森野住宅周辺地区のまちづくりに関して、その進捗状況を問う。**  
**都市整備担当部長** 権利者の方々と勉強会を開催し、検討を進め、相模原市と連携を強化し、取り組んでいきます。  
**公立中学校の部活動を地域移行する際の課題を問う。**  
**指導室長** 運営団体の選定、指導者の確保や指導料などの財源、指導者と顧問教員との連携が挙げられます。



佐々木智子(日本共産党)

## 安心安全な給食センター整備を



**高年齢者の孤立・孤独を生まない見守り支援ネットワークの取組の現状を問う。**  
**いきいき生活部長** 高齢者の孤立を防ぎ、地域の中で安心して暮らすことができるよう、地域住民や団体、民間事業者等と連携して、地域でのネットワークづくりを推進しています。ネットワークの普及に向けて、講座を実施しているほか、見守り活動の助言などを行っています。



中川幸太郎(諸派)

## 市民の生活の利便性を求める



**南地域のみで実施している、容器包装プラスチックごみの資源化量を増やしていくための目標とその見通しは。かかると思うが、その間の既存の道路の安全対策は。**  
**道路部長** 安全対策要望に第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画において、30年度までに19年度と比較して、4000トン増加させることとされています。目標の達成に向けて、26年度から市域全体で容器包装プラスチックの回収、



吉田つとむ(無所属)

## 幼稚園児の減少に対応

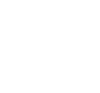


**町田市において幼稚園児が大幅に減少しているが、他方で保育園の補助新設を進めている。民間運営の幼稚園の経営は、全て自己責任か。**  
**子ども生活部長** 市内の幼稚園は民間事業者が運営していることから、運営継続の判断は事業者が行うこととなります。ただ、現状としては、幼児教育のニーズに対する確保量は充足しており、直ちに問題になることはないと考えています。  
**町田市の窓口に市民が複雑な手続き文書の作成の相談をした際、担当職員が苦慮しても、管理職は代わって対応しないのか。**  
**総務部長** 市役所の手続は法令等に基づいて判断していきますので、課長が出て説明内容が変わることは通常ありませんので、窓口の職員が責任を持って対応しています。



佐藤和彦(まちだ市民クラブ)

## モノレール延伸認知症施策



**多摩都市モノレール町田方面延伸の開業に向けてのロードマップはどのようなものか。**  
**都市づくり部長** 都が事業化を図る判断を行います。判断後は、事業認可などの手続が行われます。認可取得後は道路の拡幅などの整備が行われ、開業を迎える流れです。  
**沿線まちづくり構想案ではモノレール開業の目標**  
**いきいき生活部長** 多くの市民に認知症について正しく理解していただくことが必要であると考えています。